

2012 年度ドイツ市民社会文化活動調査
—第 14 回アルトナーレと第 13 回ドクメンター—
—ご案内—

初夏のドイツの 3 都市を訪問し、市民のイニシアティブによって設立された多様なコミュニティ社会文化施設（社会福祉、文化、教育・学習、まちづくり等）を見学・調査するとともに、ハンブルクの大規模な地域市民文化祭に参加してそれを担っている職員や市民団体との経験交流を行います。また今年は国際芸術展 Documenta の開催年にあたるので、カッセル市に立ち寄り都市と文化・芸術の結びつきの先駆例を見学します。

ドイツでは 1970 年代中期から社会文化センターという多機能的な地域センターを市民達が自力で開設し、自主管理運営する運動が発展してきました。この社会文化運動の経験は、日本の社会教育、福祉活動、地域市民 NOP 活動のありかたを考える上で大きな刺激と示唆を与えてくれるでしょう。

このドイツにおける社会文化運動、市民地域活動、およびそれと結びついた生涯学習活動の広がりや力量を示してくれるのが、ハンブルク市の下町アルトナ区で 1999 年から毎年開催されてきた地域市民文化祭「アルトナーレ die altonale」です。今回の調査旅行では、第 14 回アルトナーレに参加しつつ、それを担っている社会文化センター《モッテ》をはじめとした多様な市民 NPO 団体・施設を見学し、職員や市民との経験交流をおこないます。

ところで、今年はナチスによる前衛芸術弾圧への抗議を込めて企画され、カッセル市の全市的な取り組みとして 5 年に一度開催されてきた Documenta の開催年です。カッセル市では Dokumenta と結びついてユニークな社会文化運動が展開されてきた都市でもありません。

そこで、今回はまずカッセル市を訪問し、ちょうど 6 月 9 日から始まる Dokumenta13 をじっくりと見学しつつ、市内の社会文化センターや成人教育施設を訪問します。その後北上してハノーファー市、ハンブルク市を訪問し、社会文化運動施設や成人教育施設を調査します。さらにハンブルク市アルトナ区では altonale14 をつぶさに体験しつつそれを担っている市民たちと交流します。

今回の調査旅行を通じてドイツの大都市における市民のコミュニティ活動、社会、文化、教育・学習活動の実態と歴史を実感的に学ぶことができるでしょう。

社会教育、社会文化運動、市民によるまちづくり、地方自治への住民参加、NPO 活動などの問題に関心をもつ市民、自治体職員、研究者の方々が、積極的に参加されるよう、ご案内申し上げます。

2012 年 4 月 1 日

2012 年度アルトナ祭・社会文化運動調査団

主催 社会文化学会ドイツ交流委員会

共催 日本公民館学会国際交流部

責任者 谷 和明

1 旅行期間

基本コース 2012年6月8日(金)～6月18日(月)

2 旅行日程概略(訪問先は変更することがあります)

月 日	主要行動・調査訪問先(予定)	宿 泊
6月8日 (金)	13:30 成田空港発 コペンハーゲンを経て 20:15(現地時間) フランクフルト空港着	フランクフルト
6月9日 (土)	8:30 鉄道でKassel 11:00 Documenta13 見学 途中 社会文化センターも訪問	カッセル
6月10日 (日)	終日 Documenta13 見学 夜 カッセル社会文化センター職員との懇談	カッセル
6月11日 (月)	9:00 カッセル市 VHS 12:00 鉄道でハノーファーに移動 14:00 社会文化センターパビリオン見学 16:00 ニーダーザクセン州社会文化協会訪問	ハノーファー
6月12日 (火)	ハノーファー市民大学 ハノーファー社会文化センター、地区センター訪問	ハノーファー
6月13日 (水)	9:00 鉄道でハンブルクに移動 13:00 社会文化センター「モッテ」訪問 館長 Wendt 氏からの全体説明 15:00 社会文化センターGWAS 訪問	ハンブルク
6月14日 (木)	10:00 ハンブルク大学継続教育センター 13:00 ザンクトゲオルグ地区センター 15:00 ハンブルク VHS 18:00 アルトナーレ前夜祭(区長招待:アルトナ区役所)	ハンブルク
6月15日 (金)	10:00 社会文化センター見学 13:00 日独市民地域文化活動研究会	ハンブルク
6月16日 (土)	終日 Altonale14 見学	ハンブルク
6月17日 (日)	午前中 ハンブルク発	
6月18日 (月)	成田空港着	

3 旅行費用

基本コース 21 万円（概算）+契約時点での航空運賃アップ分
内訳

費目	金額	備考
航空運賃	約 13 万円	往復スカンジナビア航空利用
宿泊費	約 6 万円	1 泊朝食込みシングル 7000 円×9 泊（実費を現地ホテルで支払っていただきます）
参加費	2 万円	現地鉄道運賃、通信費、通訳謝礼金など。

②1 ユーロ=115 円で計算してあります。

②航空運賃は現時点で購入できる格安料金を示した参考金額です。通常安い航空券から順に売れていきますから、契約時点で 2~3 万円アップする可能性があります。

③これ以外に昼・夕食の飲食費や入場料などが必要になります。また旅行保険（5000 円程度で充分）や成田空港までの往復経費も各自の負担となります。

④参加費 2 万円は出発時に主催者に支払ってください。それ以外の費用は、往復航空運賃も含め、旅行者や現地ホテルに直接支払って下さい

<注意> この視察旅行は旅行会社に依頼して行う団体旅行ではありません。往復航空券の確保、ホテルの予約などは参加者個人で行い、現地での視察活動をグループで行うというコンセプトです。キャンセルの場合の解約料などは、航空会社やホテルの約定に従い、各人で必要額を払っていただきます。

従って、自分で適当な航空券等を予約されて参加することも可能です。

基本コースで参加される方には低価格での航空券やホテル予約の代行をしますが、上記の金額で予約できることを保証するものではありません。

4 申し込み方法・期日

申込書に必要事項を記載し、**4 月 20 日まで**に主催者まで送付して下さい（なるべく Email あるいは FAX で）。到着順に受け付け、参加の意志を確認した後、航空券や宿舎の予約の手続きを行います。航空券が確保された段階で参加受付とします（航空券は事前に確保しているわけではありませんので、なるべく早く申し込みください）。

ハンブルク市アルトナ祭・社会文化運動調査団事務局

担当者 谷 和明

東京外国語大学 留学生日本語教育センター

東京都府中市朝日町 3-1-1

TEL : 042-330-5773 FAX : 042-330-5773 Email ; sk-tani@tufts.ac.jp

5 その他

① 今回の現地調査の参加者の上限は 10 名とします。

② 旅程の詳細は 4 月 30 日までに確定し、申し込みされた方に連絡します。

③航空券をご自分で手配されても結構です。航空券の予約を確認のうえ受け付けます。

③ 現地での合流、部分的な参加も可能です。

④ 往復航空券の予約の都合上、手配を希望される方はなるべく早期に申し込んで下さい。

2012 年度
英・独の市民コミュニティ活動とハンブルク市アルトナ祭現地調査
参加申込書

2012 年度アルトナ祭・社会文化運動調査団 殿

私は貴調査団の主催する調査・交流活動に参加したく、申し込みます。

2012 年 月 日

氏名(フリガナ)

住所

所属

連絡方法

TEL

FAX

Email

(1) 参加の形態

- ① 日程表通り参加する
- ② 現地合流で部分的に参加する (月 日から 月 日まで)

(2) 航空券の手配

- ① 主催者に手配を依頼する
 - ア) 基本日程通り
 - イ) 帰国便を 月 日 空港発に変更して欲しい
- ② 自分で入手する
 - (①) の方は、生年月日とパスポート記載のアルファベット氏名を記載してください

(3) 宿泊の手配

- ① 主催者に全日程分依頼する
- ② 主催者に部分的に依頼する
(依頼する宿泊期間)
- ③ すべて自分で予約する。

(4) この企画に対するご意見・ご要望 (訪問したいところなど)